

光洋機械産業株式会社

[報道資料]

2022年11月28日

2022年12月1日より自昇降式垂直搬送装置のレンタルを開始

ー建設資材の上下運搬作業の生産性を最大18%向上ー

光洋機械産業株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：直川雅俊）と安藤ハザマ（本社：東京都港区、社長：福富正人）とは、2020 年に開発し、安藤ハザマの現場での実証を進めてきた自昇降式垂直搬送装置について、展示会への出展などでの反響にお応えしてこの度、外販レンタルを12月1日より開始します。

この装置は従来の人力による荷揚げ作業を機械化するもので、肉体的疲労の低減、荷揚げ作業の生産性（作業員1名が単位時間あたりに荷揚げする資材の量）の最大18%の向上、および安全性の向上に寄与します（図1・図2）。

装置の紹介動画（約2分） <https://www.youtube.com/watch?v=N2oPuzcAFD8>

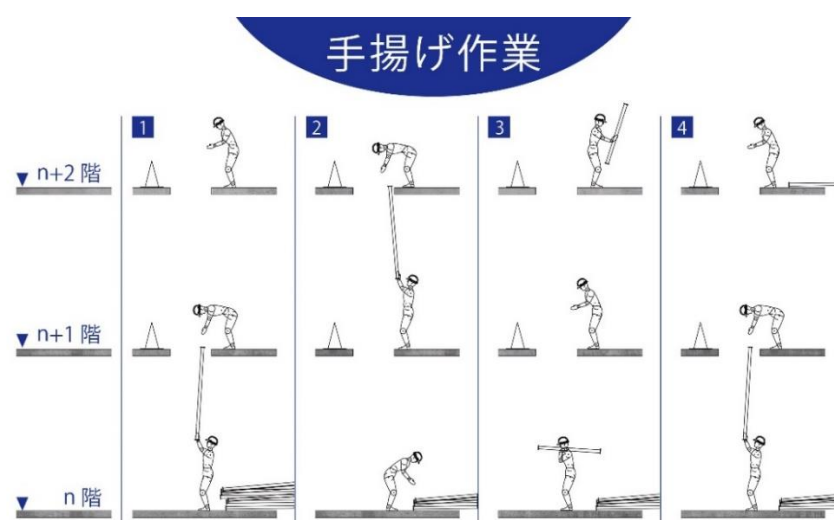


図1：従来の荷揚げ作業

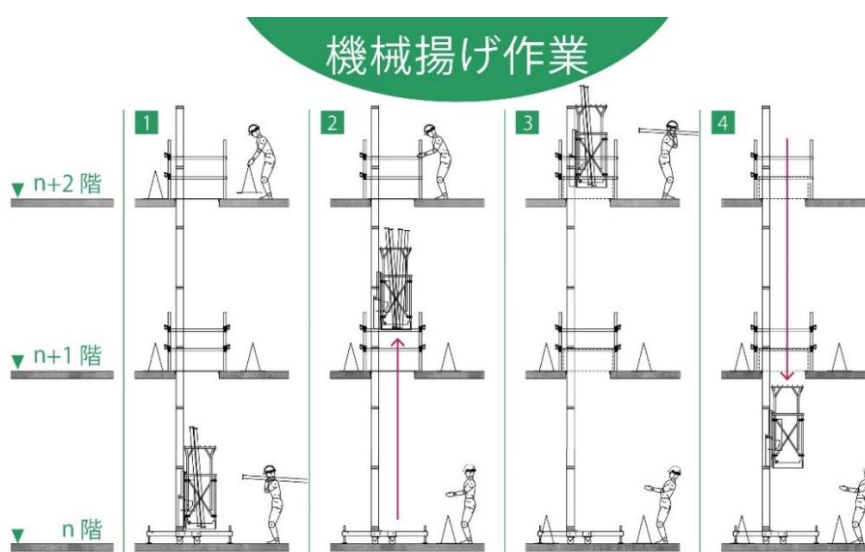


図2：垂直搬送装置による荷揚げ作業

1. 開発の背景

建設業では就業人口の減少、高齢化が進む中、工事現場の生産性向上による省人化・効率化が求められています。なかでも特殊な専門技術を要しない資材運搬作業の内、肉体的に負担の大きい型枠支保工の垂直移動に着目してこの装置を開発しました。

2. 装置の特長

- ・階高が低い建物であれば一人でも簡単に設置することができます（図3）
- ・躯体工事の進捗に合わせて本体自体を上階に移動することが可能です（図4）
- ・電源は100Vのコンセントで使用可能です
- ・主に型枠パイプサポートの荷揚げを目的としています、広く資材の運搬に活用することができます

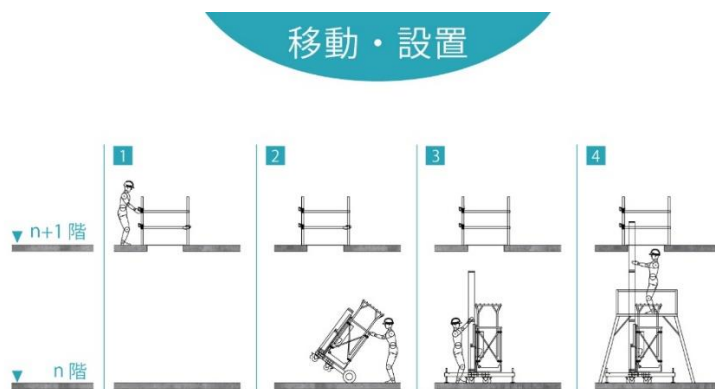


図3：一人で可能な装置の移動と設置

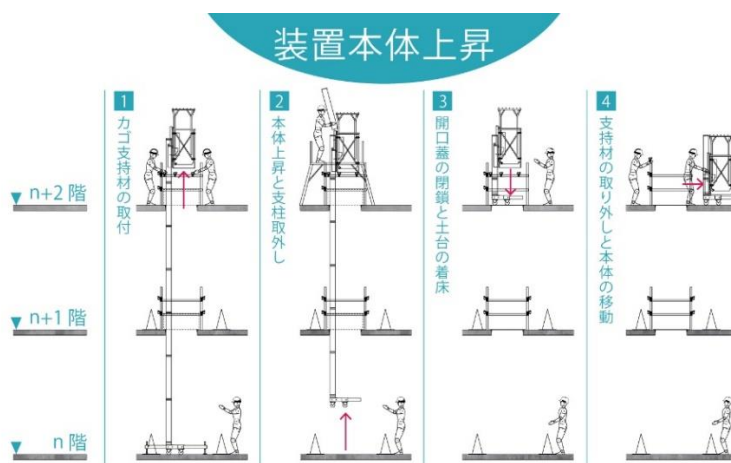


図4：工事の進捗に合わせて装置本体を上昇

・問合せ先 光洋機械産業株式会社 事業開発部 立田 (03-3534-7029)